



入院診療計画書 「細気管支炎(RSウイルス感染症)の治療を受けられる

様へ」

(病名) (症状) 発熱・咳嗽 (説明日)平成 年 月 日 (ご本人・ご家族)

確認サイン

経過 月 日	入院時	2~3日目	4~5日目	6日目(退院時)
到達目標	呼吸状態の悪化がない。	活気が出て、哺乳量が増える。	鼻閉が改善する。	検査結果が改善し全身状態が安定する。
処置	輸液による水分補給・栄養補給のために持続点滴を行います。 抗生剤を1日3回(2時・10時・18時)に行います。 必要時、ステロイドを使用します。	定時吸入または酸素を使用し持続吸入を行います。 鼻口腔の吸引を行いますので哺乳前にお知らせ下さい。 呼吸苦が悪化したらモニターを装着することがあります。	状態が落ち着いてきたら酸素が中止になります。 鼻汁が多い場合は吸引を続けます。 おなかที่張るようでしたら浣腸や排気を行います。	検査結果で点滴を終了します。
検査	身長・体重測定、血液検査・検尿・胸部レントゲン検査、RSウイルス検査、鼻・咽頭培養検査をします。	必要時に血液検査、胸部レントゲンがあります。		退院時、必要に応じて血液検査があります。
薬剤	現在服用されている薬があれば、全て看護師にお渡しください。症状に合わせて薬がはじまります。	内服が出来ない場合はお知らせ下さい。服用確認のために服用後の内服袋を回収しますので捨てないようお願いいたします。		
全身管理	毎日7時・10時・14時・18時に検温をします。但し熱がある時は例外です。シーネを2回/週行います。10時にミルク量・尿・便の回数をお尋ねします。点滴が確実に入っているか、点滴の漏れがないか、夜間も巡回し点滴の管理をします。			
食事	特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 無理のない程度で制限はありません。ミルクの方の哺乳瓶や消毒などの持参もお願いします。病院ミルクをご希望の際はお知らせ下さい。			
安静	ベッド上で安静となります。だっこは可能です。			
清潔	入浴はできません。	点滴している間は午前中に看護師が身体をお拭きし、体重測定を行います。		
患者様・ご家族への説明	主治医が病状。検査結果・治療について説明します。看護師が入院生活のオリエンテーションをします。中学生以下のお子様の面会はできません。感染防止のため、病室に入られる際は手洗いをお願いします。	平日は10時から回診があります。 (土日・祭日はありません。 休日であっても、担当医がいますのでなんでもご相談下さい。)		医師より退院の説明があります。看護師より退院後の生活や次回受診について説明をします。

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この文書を病院側から受け取られた後は、患者様の責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。